

～組体操を終えて～



by6年生

私は、「3段タワー」の一番上の役になりました。周りの組がどんどん成功している中、私の組ではとても苦戦しました。運動会が近づくにつれて、20分休み・昼休み・放課後とほぼ毎日のように練習しました。私も怖がっていたせいで、なかなか立てませんでした。絶対成功させたいという思いでがんばりました。できなかった技がみんなと力を合わせてできたことが、とてもうれしかったです。

「最後の運動会なので、今まで以上に力を入れてがんばるぞ。」と心に決めて組体操の練習に取り組みました。今までなら、楽しみではなかった運動会も、練習を重ね、技ができるようになるにつれて、楽しみになってきました。最後のエンディングでたくさんの拍手をいただいた時は、とても嬉しかったです。6年生では、いろいろな小学校生活最後がありますが、この経験を活かして、どれも一生懸命がんばりたいです。

僕は、「人間起こし」の上に上げられる人にも選ばれました。練習を始めたころは、とても怖くてきれいに倒れることができませんでした。でも、支えてくれる友達が、「絶対支えたるから大丈夫やで！」と声をかけてくれたので、思い切って倒れるときれいになれるようになり嬉しかったです。この運動会を通して仲間の大切さを改めて感じることができました。みんなで、一致団結して、最高の演技ができてよかったです。

小学校生活最後の運動会。組体操では、6年生みんなの心が一つになり、絆が深まりました。たくさんある技の中で、私は補助倒立が一番苦労しました。毎朝の練習はもちろん、毎日放課後も残って練習しました。私が頑張り続けることができたのは、応援し、アドバイスしてくれる友達、技のテストに合格したら一緒に喜んでくれる友達がいたからです。大変だったけど、とても楽しかったです。

組体操を終えて思ったことは、たくさん練習したけど本番は一度しかないということです。本番は泣きそうで見えませんでした。小学校生活最後の運動会でもあるし、最高の演技を見ることができた嬉しさに自分でも感動してしまいました。今までの練習の時間がどれだけ大切な時間だったかということ。そして、友達と協力し合って大成功をおさめることができたということ。感謝の気持ちでいっぱいです。

ハッスル！ハッスル！
心ひとつに一致団結



毎年見てきた組体操。失敗した技もあったけど、今まで練習してきた成果を出し切れました。最高学年として最高の演技ができたと思います。周りの人からの大きな拍手に6年生になった実感がわかりました。ここまでこれたのは、アドバイスをくれたり時間を作って補助しにきてくれたりした先生方や、応援し合い協力してきた仲間がいたからできたことだと思います。これからも一致団結、心をついて頑張りたいです。

ぼくたち6年生にとって最後の運動会。今までずっと積み重ねてきたものを発揮する時がついにきました。「楽しみ」という気持ちと「もうこのみんなと一緒にできない」という気持ちがあってとても複雑でした。でも、他の学年が気持ちをこめた演技をしているのを見て感動し、気持ちを集中させることができました。そして僕たちの出番。最後まで一心不乱にやりました。悔いのないよう一生けんめいやったことはこれから一生忘れないと思います。

五年間あこがれ続けた組体操。いよいよ私たちの出番がやってきました。とても簡単そうだと思っていたのですが、いざやってみると、思った以上につらかったです。仲間からの励ましや支え、成功した時の喜びと嬉しさがあったから毎日の練習を乗り越えることができました。私は、この組体操練習から「仲間との協力・助け合い」を学びました。この思いを大切にして、残りの小学校生活を楽しみたいと思います。

人間起こしは、土台の人の力で上の人を上げ、倒れてくる上の人を土台の人たちが支えるという協力が必要な技です。だから、上の私がひざを曲げてしまうたび、申しわけない気持ちでいっぱいでした。でも、倒れるたびに受け止めてくれる友達のやさしさに「次は成功させるぞ。」と思いました。本番は最高の演技ができるよう本気でがんばりました。支えてくれた友達や先生には、ありがとうの気持ちでいっぱいです。

エンディングでは、「天守閣」をしました。私がやっている所は、上に人が乗るのでとても重く、力をふりしぼってがんばりました。「天守閣」のほかにも「3段タワー」をしていて、すごく迫力があって、私も負けられないなと思い、がんばりました。みんなで心をついて、最後に最高の技でしめくられたので、とても良い演技になったと思いました。